有料老人木一厶重要事項説明書

施設名	コミュニティホームのがわ
定員・室数	14 人 ・ 14 室

有料老人ホームの類型・表示事項

11-2-2-1-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-	
型 <u>介護付(一般型)</u>	類 型
付 登 録 の 有 無	サ付登録の有無
住の権利形態 利用権方式	居住の権利形態
用料の支払方式 月払い方式	利用料の支払方式
居 時 の 要 件 混合型(自立除く)	入居時の要件
護保険の利用 特定施設入居者生活介護(一般型)	介護保険の利用
室 区 分 定員1人	居 室 区 分
護に関わる職員体制 2.5:1以上	介護に関わる職員体制

1 事業主体

						法人等	の種別		Ë	约 利法人					
名	彩			称	フリカ゛ナ	·		ュウケ゛ンカ゛イシ	ソヤノカ゛ワ						
						名 称	ろ 称 有限会社のがわ								
} ;	トファ	事務所の所在		- 14	〒 1	84-0011									
土/	こるき	事 務		기계1	上地										
連		糸	Þ		生	電 話	番号	-230-3051							
建		亦	臼		先	ファック	カス番号		042	-230-0168					
ホ	1	ム	~	Ţ	ジ	http://to	cy. co. jp/								
代	表	者	職	氏	名	役職名	代表	取締役	氏名	五十嵐 憲幸					
設	立	左	F	月	日		平成15年11月6日								
主	な	 	į.	業	等		特定施設。	入居者生活介詞	護・認知症	対応型共同生活介護					

事業主体が東京都内で実施する介護保険制度による指定介護サービス

介護サービスの種類	箇所数	主な事業所の名称	所在地
<居宅サービス>			
訪問介護	なし		
訪問入浴介護	なし		
訪問看護	なし		
訪問リハビリテーション	なし		
居宅療養管理指導	なし		
通所介護	なし		
通所リハビリテーション	なし		
短期入所生活介護	なし		
短期入所療養介護	なし		
特定施設入居者生活介護	1	コミュニティホームのがわ	東京都小金井市東町2-31-3
福祉用具貸与	なし		
特定福祉用具販売	なし		
<地域密着型サービス>			
定期巡回・随時訪問介護・看護	なし		
夜間対応型訪問介護	なし		
地域密着型通所介護	なし		
認知症対応型通所介護	なし		
小規模多機能型居宅介護	なし		
認知症対応型共同生活介護	2	グループホームのがわ・グループホームのがわ弐番館	東京都小金井市東町2-31-3・東京都小金井市梶野町1-3-6
地域密着型特定施設入居者生活介護	なし		
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	なし		
複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護)	なし		

居宅介護支援	なし		
<居宅介護予防サービス>			
介護予防訪問入浴介護	なし		
介護予防訪問看護	なし		
介護予防訪問リハビリテーション	なし		
介護予防居宅療養管理指導	なし		
介護予防通所リハビリテーション	なし		
介護予防短期入所生活介護	なし		
介護予防短期入所療養介護	なし		
介護予防特定施設入居者生活介護	1	コミュニティホームのがわ	東京都小金井市東町2-31-3
介護予防福祉用具貸与	なし		
介護予防特定福祉用具販売	なし		
<地域密着型介護予防サービス)	>		
介護予防認知症対応型通所介護	なし		
介護予防小規模多機能型居宅介護	なし		
介護予防認知症対応型共同生活介護	2	グループホームのがわ・グループホームのがわ弐番館	東京都小金井市東町2-31-3・東京都小金井市梶野町1-3-6
介護予防支援	なし		
<介護保険施設>			
介護老人福祉施設	なし		
介護老人保健施設	なし		
介護療養型医療施設	なし		
介護医療院	なし		

2 事業所概要

	ナイバルシ													
名		称	フリカ゛ナ]{1	ティホー	ムノカ	ı` ワ				
711		بانه	名 称			□ ₹ 3	ュニラ	<u>-</u> イオ	\ _	ムのカ	わ			
所	在	地	〒 18	34-0011										
171	آلم	بان]	東京都小金井市東町2-31-3								
連	絡	先	電 話	番号		042-230-3051								
Æ	/ru	76	ファック	ス番号				042	-23	0-016	8			
ホ	− ∠ ~	ー ジ	http://to	y. co. jp/										
介言	護保険事業	所番号				第13	74101	846	号 -					
管	理者職		役職名	施	設長		氏	•				中級	.	
事	業開始生	手 月 日				令	和	年	7	月 1	日			
届	出 年	月 日				令	和 1	年	5	月 31	日			
届	出上の開設	年月日				令	和	年	7	月 1	日			
特分	定施設入居者	生活介護	新規指定的	平月日(初[回)	令	和	年	7	月 1	日			
.10 >		工1日/1 吱	指定の有効	効期間		令	和了	年	6	月 30	日	まで	で	
			新規指定的	拝月日(初Ⅰ	旦)	令	和	年	7	月 1	日			
特员	它施設入居者 <i>。</i>	生活介護	指定の有効	効期間		令	和了	年	6	月 30	日	まで	で	
事	業所へのア	クセス	JR中央線 🛚	東小金井(南	ロ) よ	:り徒歩12分	、∙西武	多摩	川線	新小	金井縣	アより徒	歩7分	
施記	役・設備等の2	伏況												
旉	lt	地	権利形態	- m		抵当権	あ	IJ						
九	X 	40	面 移	1474. 3	7 m²									
			権利形態	賃貸	借	抵当権	あ	IJ						
			延床面積	1094. 3	7 m ²	うち	っ有料	老人	、 ホ	ーム分	53	5. 09	m²	
			竣工日			平	成 1	6 年	9	月 29	日			
趸	ŧ	物	階 娄	/			地」	:	2	階	1	地下	0	階
			MH 8	うち有料	斗老人	、ホーム分	地」	:	1	階	1	地下	0	階
			構造	耐火建築物	J	建築物戶						と人ホ	ーム	
			併設施設	等 あり		(グル	<u> </u>	プホー	ムのフ	がわ)

任代世初始の押司	₩,	7 1	萝	契約期間	甲	成16年1	0月1日	\sim	4	令和6年9月3	0日
賃貸借契約の概要	安	建物	E	自動更新	所 あり						
		階定]	室数				面積			
		1階 1	人	14室		14. 25	m²	~	1	4. 25 m²	
居	室						m²	\sim		m²	
<u></u>	£						m²	\sim		m²	
							m²	\sim		m²	
							m²	\sim		m²	
		階定	負	室数				面積			
一時介護	室						m²	\sim		m²	
							m²	\sim		m²	
		便	所	Î	全室あり)					
		洗	直	Î	全室あり)					
		浴	室	Ĩ.	なし						
居室内の設備	等	冷暖	房設	備	全室あり)					
		電話	回紀	線	全室あり) (Ī	设置各	自)
		テレビア	ンテ	ナ端子	全室あり) (Ī	设置各	自)
共 同 便 月	折	2	箇	所				(Ē	男女共用)
 共 同 浴 3	室	個浴	:	1		大浴槽:	0		機	械浴:	1
7 N N =	±.	併設施設	t と (の共用	なし	()
食 堂	堂	兼用		あり	(談詞	話室・	幾能訓	練室)
	±.	併設施設	t と (の共用	なし	()
その他の共用施設		なし		()
エレベーター		あり			基						
	崩	自動火災				火災通幸				リンクラー :	
緊急呼出装置	置	居室:		あり	便所:	あり	浴室	:	あり	脱衣室:	あり

3 従業者に関する事項

職種別の行	職種別の従業者の人数及びその勤務形態										
	料老人ホームの)勤務形態							
		常勤			常勤	Λ∌L	常勤換算	并 数化河			
職種	実人数	専従	非専従	専従	非専従	合計	人数	兼務状況 等			
管理	者(施設長)		1			1人	0. 5	相談員兼務			
生活	相談員		2			2人	1.0	管理者・介護職員兼務			
看護	職員:直接雇用	1				1人	1. 0				
看護	職員:派遣					0人	1.0				
介護	職員:直接雇用	1	2	9		12人	6. 2				
介護	職員:派遣					0人	0. 2	計画作成担当者・機能訓練指導員兼務			
機能	訓練指導員		1			1人	0. 2	介護職員兼務			
計画	作成担当者		1			1人	0. 2	介護職員兼務			
栄養	土					0人					
調理	員					0人					
事務	員					0人					
その	他従業者					0人					
② 1	週間のうち、常	勤の従業	者が勤務す	一べき時間	数		40 時間				

③-1 分	護職員の資	資格						
次协	延べ	常	勤	非常	常勤			
資格	人数	専従	非専従	専従	非専従			
介護福祉	士	1	2	5				
実務者研	修							
介護職員	初任者研修			1		ĺ		
介護支援	等門員					1		
たん吸引等	研修(不特定)					ĺ		
たん吸引等	研修(特定)					_		
資格なし	/			3				
③-2 機	&能訓練指導	算員の資格		-				
資格	延べ		勤	非常	常勤			
貝竹	人数	専従	非専従	専従	非専従			
理学療法	士							
作業療法	士							
言語聴覚	士							
看護師又	は准看護師							
柔道整復	師		1					
あん摩マッ	サージ指圧師					_		
はり師又	はきゅう師							
③-3 管	萨理者(施 認	役長)の資	格	介護福祉	士・認知症介	`護実践!	リーダー研修・認り	定特定行為業務従事者
④ 夜勤・	宿直体制							
配置職員	数が最も少	ない時間	帯	20 時	0 分	~	7 時 0	分
上記時間	帯の職員配	置数		介護職員	1 人.	以上	看護職員	0 人以上
⑤ 特定施	E 設入居者生	と活介護の	従業者の力	人数等		15	同じのため記力	省略
職種	、 実人数	常	勤	非常	常勤	合計	常勤換算	兼務状況
和联行至	727.50	専従	非専従	専従	非専従	ЦП	人数	7K477 1V17L
生活相談	負					0人		
看護職員	Į					0人		
介護職員	Į					0人		
機能訓練	指導員					0人		
計画作成	过当者					0人		
$\bigcirc -1$ $\bigcirc $	で護職員の資	格			(3	§)— 1 &	こ同じのため訂	己入省略
資格	延べ		勤	非常	常勤			
貝竹	人数	専従	非専従	専従	非専従			
介護福祉	士							
実務者研	修							
介護職員	初任者研修							
介護支援	専門員							
たん吸引等	研修(不特定)							
たん吸引等	研修(特定)							
資格なし								

	⑤-2 機能訓練指導	員の資	格				3)-2と同	じのため記	記入省略	
	資格 延べ		常勤			非常勤	J				
	人数	専従	自 非	専従	専領	当	丰専従				
	理学療法士										
	作業療法士										
	言語聴覚士										
	看護師又は准看護師			_							
	柔道整復師										
	あん摩マッサージ指圧師										
	はり師又はきゅう師										
	⑤-3 看護職員及び	が介護職	員1人	、当たり	(常勤	動換算)	の利用			1. 7	人
従	業者の職種別・勤続年	数別人	数(本	事業所	におけ	る勤績	(年数)				
	勤続 聯番	看護	職員	介護	職員	生活村	泪談員	機能訓絲	東指導員	計画作品	成担当者
	年数職種	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
	1年未満				3						
	1年以上3年未満										
	3年以上5年未満			3	6						
	5年以上10年未満	1				2		1		1	
	10年以上										
	合計	1	0	3	9	2	0	1	0	1	0

4 サービスの内容 提供するサービス

モリ るり・レハ					,			
食事の提供サービス				あり	(委託	5)
食事介助サービス				あり				
入浴介助サービス				あり				
排せつ介助サービス				あり				
口腔衛生管理サービス	ζ		あり					
居室の清掃・洗濯サー	-ビス等家事技		あり					
相談対応サービス			あり					
健康管理サービス(定	三期的な健康診	诊断実施)		あり				
服薬管理サービス				あり				
金銭管理サービス				あり				
	や怪我の治療(も対応可能でき	は新田クリニ す。その他の						
アの内容								
アの内容		医療法人社	団つくし会	新田クリニ	ニック			
アの内容	3力			新田クリー	ニック			
での内容 養に 等 医療機関との連携・協 協力医療機関(1)	名称	医療法人社 東京都国立市			ニック 	 じた診療	あり	
アの内容 (巻)・協	A 称 所在地	医療法人社 東京都国立市	市西2−26−29 あり 対する治療及び入 シ療科目:消化器	事業者の院加療。また、科・整形外科	求めに応 、 入 居者にか ・外科・循環	I いかる医療情 環器科・訪問	報の提供。 診療	。治:
アの内容 (巻)・ 気を療機関との連携・協	A 名称 所在地 急変時の相記	医療法人社団 東京都国立で 炎対応 入居者の疾患に対 費は実費負担。記	市西2−26−29 あり 対する治療及び入 シ療科目:消化器	事業者の院加療。また、科・整形外科	求めに応 、 入 居者にか ・外科・循環	I いかる医療情 環器科・訪問	報の提供。 診療	。治
アの内容 (巻)・ 気を療機関との連携・協	A力 名称 所在地 急変時の相記 協力の内容	医療法人社団 東京都国立で 炎対応 入居者の疾患に対 費は実費負担。記	市西2−26−29 あり 対する治療及び入 シ療科目:消化器	事業者の院加療。また、科・整形外科	求めに応 、 入 居者にか ・外科・循環	I いかる医療情 環器科・訪問	報の提供。 診療	。治:
アの内容 (巻)・ 気を療機関との連携・協	A力 名称 所在地 急変時の相記 協力の内容 名称	医療法人社団東京都国立下 淡対応 入居者の疾患に対 費は実費負担。計 コミュニティホー	市西2−26−29 あり 対する治療及び入 シ療科目:消化器	事業者の院加療。また、科・整形外科 田クリニック:	求めに応 、 入 居者にか ・外科・循環	かる医療情 景器科・訪問 軍で40分ぐら	報の提供。 診療	。治
アの内容 医療機関との連携・協力医療機関(1)	名称	医療法人社団東京都国立下 淡対応 入居者の疾患に対 費は実費負担。計 コミュニティホー	市西2−26−29 あり 対する治療及び入 シ療科目:消化器	事業者の院加療。また、科・整形外科 田クリニック:	・求めに応 、入居者にか ・外科・循環 まで20km(車	かる医療情 景器科・訪問 軍で40分ぐら	報の提供。 診療	。治
アの内容 医療機関との連携・協力医療機関(1)	A 名称 所在地 急変時の相記 協力の内容 名称 所在地 急変時の相記	医療法人社団東京都国立下 淡対応 入居者の疾患に対 費は実費負担。計 コミュニティホー	市西2-26-29 あり 対する治療及び入 シ療科目:消化器 -ムのがわから新	事業者の院加療。また、科・整形外科 田クリニック:	・求めに応 、入居者にか ・外科・循環 まで20km(車	かる医療情 景器科・訪問 軍で40分ぐら	報の提供。 診療	。治
アの内容 医療機関との連携・協力医療機関(1)	A 名称 所在地 急変時の相記 協力の内容 名称 所在地 急変時の相記 協力の内容 協力の内容 協力の内容	医療法人社園 東京都国立了 炎対応 入居者の疾患に対 費は実費負担。計 コミュニティホー	市西2-26-29 あり 対する治療及び入 分療科目:消化器 -ムのがわから新	事業者の院加療。また、科・整形外科・田クリニック	・求めに応 、入居者にか ・外科・循環 まで20km(車	かる医療情 景器科・訪問 軍で40分ぐら	報の提供。 診療	。治:
アの内容 医療機関との連携・協力医療機関(1)	A 名称 所在地 急変時の相i 協力の内容 名称 所在地 急変時の相i 急変時の相i 場方の内容	医療法人社団東京都国立可 東京都国立可 炎対応 入居者の疾患に対 費はままます。計 で対応 とくら歯科団 東京都国分	市西2-26-29 あり 対する治療及び入 分療科目:消化器 -ムのがわから新	事業者の院加療。また、科・整形外科・田クリニック:	・求めに応 、入居者にか ・外科・循環 まで20km(車	かかる医療情 環器科・訪問 車で40分ぐら じた診療	報の提供。 診療	。治

介護保険加算サービス等	
個別機能訓練加算	なし
夜間看護体制加算	なし
看取り介護加算	なし
協力医療機関連携加算	あり
認知症専門ケア加算	あり(I)
サービス提供体制強化加算	なし
介護職員等処遇改善加算	あり(II)
入居継続支援加算	なし
テクノロジーの導入 (入居継続支援加算関係)	なし
生活機能向上連携加算	なし
若年性認知症入居者受入加算	なし
ADL維持等加算	なし
科学的介護推進体制加算	あり
高齢者施設等感染対策向上加算	なし
生産性向上推進体制加算	なし
口腔・栄養スクリーニング加算	なし
退院・退所時連携加算	なし
退去時情報提供加算	なし
人員配置が手厚い介護サービスの実施	なし
短期利用特定施設入居者生活介護の算定	不可
利用者の個別的な選択によるサービス提供	あり
運営懇談会の開催	あり (年 2 回予定)
入居者の人数が少ないなどのため実施しない場合の代替措置	
自費によるショートステイ事業	あり

入居に当たっての留意事項

	•					
	年齢	特定施設入居者生活介護の指定を受けている関係上、概ね65歳以上				
	要介護度	介護保険認定者(要支援・要介護)				
入居の条件	医療的ケア	応相談				
	認知症	応相談				
	その他	なし				
身元引受人等の条 件、義務等	いて入居者と連帯	・ 名は身元引受人を定めなければなりません。身元引受人は入居者に対する一切の責務につ もして履行の責を負うと共に、必要な時は入居者の身柄を引き取る責任を負います。身元 いいては当事業所が適当と判断し承諾した時は書面を取り交わします。				
	利用期間	空床がある時のみ				
体験入居	利用料金 1泊10,000円(宿泊費・介護サービス料・食費込み)					
	その他	なし				
入院時の契約の取扱い		・ 、院により不在の場合は、家賃は全額負担になり、食費はいただきません。また、入院が3ヶ月にわたった 場合、若しくは退院の見込みがない場合、退去の相談をさせていただきます。				
やむを得ず身体拘束 を行う場合の手続	時性) 御家族に説明を行い、 切迫性〜入居者及び他入居者 非代替性〜身体拘束等以外に 一時性〜身体拘束等が一時的	①現状(切迫性)②これまでの介護経過③当ホームで行いうる介護手法での対応が困難な理由(非代替性)④今後の方針⑤具体的な身体拘束の内容とその期間について(一 時性)御家族に説明を行い、所定の書式に同意頂いた上で行います。実施期間においては状態観察・見守りを行い記録する。 刃迫性~入居者及び他入居者の生命・身体が危険にさらされている可能性が高い状態 申代徴性~身体拘束等以外に代替えする介護方法がない状態 一時性~身体拘束等が一時的なこと 身体拘束等行動制限の必要な状況が解消した場合は、すみやかに解除します				
事業者からの契約解除	等の際には文書による通知を	場合や長期入院(3ヶ月以上)及び長期不在・管理費等の入居者が支払うべき費用を3ヶ月滞納した場合、共同生活の秩序を乱す行為があった場合 そ行った後、14日経過をした時をもって契約解除となります。入居者からの申し出の場合は契約解除の届を文書にて提出し14日を経過した日にこ 、入居者が死亡した場合は契約終了となりますが、財産処理及び居室の原状回復を14日以内に行っていただきます。				

要介護時における居室の位	主み替えに関する事項
一時介護室への移動	なし
判断基準・手続	
利用料金の変更	
前払金の調整	
従前居室との仕様 の変更	
その他の居室への移動	なし
判断基準・手続	
利用料金の変更	
前払金の調整	
従前居室との仕様 の変更	
提携ホーム等への転居	なし
判断基準・手続	
利用料金の変更	
前払金の調整	
従前居室との仕様 の変更	
苦情対応窓口	
窓口の名称1	コミュニティホームのがわ
電話番号	042-230-3051
対応時間	9:00 ~ 18:00 (年中無休)
窓口の名称2	小金井市役所
電話番号	042-387-9804
対応時間	9:00 ~ 17:00 (平日)
窓口の名称3	東京都国民健康保険団体連合会
電話番号	03-6238-0177
対応時間	9:00 ~ 17:00 (平日)
賠償責任保険の加入	あり 保険の名称: あいおいニッセイ同和損保 介護保険社会福祉事業者総合保険
利用者等の意見を把握する	る体制、第三者による評価の実施状況等
	箱等利用者の意見等を把握する取組 あり
東京都福祉サービス第	
その他機関による第三	者評価の実施なしは結果の公表

5 入居者

介記	護度別・年齢別入居者数	平	均年	三齢:		92. 5	歳		入	居者数台	什	:	1	12 人		
	年齢 介護度	自立	要	支援 1	要	支援 2	要	介護 1	要	介護 2	要	介護 3	要	介護4	要介記	獲5
	6 5 歳未満															
	65歳以上75歳未満															
	75歳以上85歳未満							1								
	85歳以上									2		2		3		4
	合計	0		0		0		1		2		2		3		4
入	入居継続期間別入居者数															
	入居期間 6月未満 6月 1年					1年以 5年未		5年以 10年未	上満	10年以 15年未		15年以	上	ĺ	合計	
	入居者数		2		1		4		5						12	
男	女別入居者数	男性:		-	0	人		女性:		1	2	人				
入	書率(一時的に不在となっ	ている	者	を含む	。)			86	%	(定員	にこ	付する	入是	居者数)		

直	直近1年間に退去した者の人数と理由								
	理由	人数	理由	人数					
	自宅・家族同居		その他の福祉施設・高齢者住 宅等へ転居						
	介護老人福祉施設(特別養護 老人ホーム)へ転居		医療機関への入院						
	介護老人保健施設へ転居		死亡						
	介護療養型医療施設へ転居		その他						
	他の有料老人ホームへ転居		退去者数合計	0					

6 利用料金

6 7	列用料金											
入居	計準備費用		†	まし			円					
	明内細訳											
-	支払日・	支払方	法									
1	解約時の治	返還										
敷金	<u>}</u>		1,	まし								
2	金額					円	※退≠	に時に滞納家?	賃及び居室の	の原状回復費用	用を除き全額	預返還する。
家皇	賃及びサー	-ビスの	つ対付	価								
										(内訳)		
	プラ、	ンの名	称	È	前払金	月額和	用料	家賃	管理費	介護費用	食費	光熱水費
	月払い方:	<u>式</u>				238,	400円	142, 000	37, 000	0	59, 400	実費按分
							0円					
							0円					
							0円					
	各	·····································					Ē	前払金なし 				
:	料象の	近任	旁同	種の家賃	相当額と」	比較して到	妥当な額	領として14	2,000円と	設定		
	内 管理領	費 管理	里費(37, 000円	共用施訂	設等の維持	寺・管理	里、備品、	消耗品等			
	・ 明 介護費用 なし ※介護保険サービスの							ごスの自己:	負担額は含	含まない。		
	食費	厨 原	日当: 房管: 食事:	理運営費 をキャン		円 F 場合の取扱	× 30E 円など 扱いに1	で積算	610 円	間食がるものとして	150	円 す。ロ
	光熱水	*費 ホ-	-ム:	全体の電	気・ガス	・水道代の	の月額は	計を実費	按分			
	短期利用	月 1 日	3当:	たり	0	円	利用料(算出方)					

前	払金の取扱い	
	支払日・ 支払方法	
	償却開始日	
	返還対象とし	
	ない額	位置づけ
	契約終了時の 返還金の算定 方式	
	/ == / / / / / / / / / / / / / / / / /	期間:3か月 起算日:入居した日
	亡退去含む) の返還金の算 定方式	
	返還期限	契約終了日から 日以内
	保全措置	保全先:
	その他留意事 項	
月:	額利用料の取扱い	
	支払日・ 支払方法	毎月末締めの翌月27日払い
	その他留意事 項	なし
介	護保険サービスの	の自己負担額 ※要介護度に応じて利用料の1割(一定以上所得の場合2~3割)を負担する。

(30日換算・自己負担1割の場合)

30日換算・自己負担1割の場合)							
介護度	介護報酬	自己負担額					
要支援 1	60, 613	6, 735					
要支援 2	102, 665	11, 408					
要介護 1	176, 764	19, 641					
要介護 2	198, 439	22, 049					
要介護3	221, 085	24, 565					
要介護 4	242, 116	26, 902					
要介護 5	264, 435	29, 382					

加算の種類	算定	備考
個別機能訓練加算	なし	
夜間看護体制加算	なし	要介護のみ
看取り介護加算	なし	対象者のみ
協力医療機関連携加算	あり	対象者のみ
認知症専門ケア加算	あり(I)	
サービス提供体制強化加算	なし	
入居継続支援加算	なし	
生活機能向上連携加算	なし	
若年性認知症入居者受入加算	なし	対象者のみ
ADL維持等加算	なし	
科学的介護推進体制加算	あり	
高齢者施設等感染対策向上加算	なし	
生産性向上推進体制加算	なし	
口腔・栄養スクリーニング加算	なし	対象者のみ
退院·退所時連携加算	なし	対象者のみ
退去時情報提供加算	なし	対象者のみ

	介護職員等処遇改善加算	あり(Ⅱ)	
--	-------------	-------	--

利用者の個別的な選択による生活支援サービス利用料

一部有料(サービスごとの料金は一覧表のとおり)

料金改定の手続

入居契約書第24条(費用の改定)により、管理費・食費の見直しを消費物価の変遷に併せて毎年1 回当事業所の定める時期に協議いたします。

【料金プランの一例】

最も一般的・標準的なプランについて記入すること。

7	プランの名称		月払い方式	
				単位:円
	入居準備費用	敷金	前払金	月額利用料
	0	0	0	238, 400
	※利用者の個別的な選抜	Rによる生活支援サービ	ス利用料及び介護保険サービス	の自己負担額は含まない。

7 入居希望者等への事前の情報開示

入居契約書の雛形	入居希望者に公開	財務諸表の要旨	公開していない
管 理 規 程	入居希望者に公開	財務諸表の原本	公開していない
事業収支計画書	公開していない	その他開示情報	なし

添付書類: 介護サービス等の一覧表

東京都有料老人ホーム設置運営指導指針との適合表

重要事項説明書及び一	-	合表の各項	百目 に	説明年』	年	月
ついて説明を受け、理	-			説明者」	職・氏名	
	年	月	日	職		
_署名				署名		

介護 サービス等の一覧表(参考様式)

	(自 立)		(要支援、要介護 I ~ V 区分)		
	区分				
	追加料金が発生しない(前払金又は月額利			その都度徴収するサービス(料金を表示)	
	用料に含む)サービス	テープ(神童を数 示)			
	1:0		介護のサービスに■	住宅型有料老人ホームに おいて外部の居宅サービ	
			前払金又は月額利用 料に含むサービスに〇	ス利用を原則とするサー	
サービス					
<介護サービス>					
巡回 日中					
巡回 夜間					
食事介助					
排泄介助					
おむつ交換					
おむつ代					
入浴(一般浴)介助					
清拭					
特浴介助					
身辺介助					
・体位交換					
・居室からの移動					
・衣類の着脱					
・身だしなみ介助					
口腔衛生管理					
機能訓練					
通院介助 (協力医療機関)					
(協力医療機関) 通院介助 (上記以外)					
<u></u>					
<生活サービス>					
居室清掃					
リネン交換 					
日常の洗濯					
居室配膳•下膳					
嗜好に応じた特別食					
おやつ					
理美容					
買物代行(通常の利用区域)					
買物代行(上記以外の区域)					
役所手続き代行					

区分	(自 立)		(要支援、要介護 I ~ V 区分)		
	追加料金が発生しない(前払金又は月額利用料に含む)サービス	サービス(料金を表		その都度徴収するサービス(料金を表示)	
サービス	1=0		特定施設入居者生活介護のサービスに■ 前払金又は月額利用料に含むサービスに○	住宅型有料老人ホームに おいて外部の居宅サービ ス利用を原則とするサー ビスに▲	
<健康管理サービス>					
定期健康診断					
健康相談					
生活指導•栄養指導					
服薬支援					
生活リスムの記録(排便・睡眠 等)					
医師の訪問診療					
医師の往診					
<入退院時、入院中のサービス>					
移送サービス					
入退院時の同行(協力医療 機関)					
入退院時の同行(上記以外)					
入院中の洗濯物交換・買物					
入院中の見舞い訪問					
<その他サービス>					

東京都有料老人ホーム設置運営指導指針との適合表

	指針項目		該当に		備考			
安定的・継続的な居住の確保のための項目								
1	有料老人ホーム事業の継続を制限する恐れのある抵 当権が設定されていないか。	O 適合		不適合				
2	借地・借家の場合、入居者の居住の継続を確実なものとするため、指針4(3)から(5)までに定めるすべての要件を満たしているか。	O 適合	不 • 適 合	非 • 該 当	亥 📗			
緊	急時の安全確保のための項目							
3	有料老人ホーム(児童福祉施設等)の建物として建築 基準法第7条第5項に規定する検査済証が交付され ているか。	適合		不適合				
4	耐火建築物又は準耐火建築物であるか。	適合	•	不適合				
5	各居室・各トイレ・浴室・脱衣室のすべてにナースコール等緊急呼出装置を設置しているか。	O 適合	•	不適合	<u> </u>			
6	【収容人員(従業員含む。)10人以上の施設】 消防署に届け出た消防計画に基づき避難訓練を実施 しているか。	O 適合	不 ・ 適 合	非 • 該 当	亥 📗			
7	消防法施行令に定める消防用設備(スプリンクラー設備等)を設置し、消防機関の検査を受けているか。	O 適合	•	不適合				
入	.居者の尊厳を守り、心身の健康を保持するための項目				•			
8	各居室は界壁により区分されているか。	O 適合	•	不適合				
9	各居室の入居者1人当たりの面積は壁芯13㎡以上であるか。	適合	•	不適合	鱼			
10	すべての居室の定員が1人又は2人(配偶者及び3親 等以内の親族を対象)であるか。	O 適合	•	不適合				
11	入居時及び定期的に健康診断を受ける機会を提供しているか。	適合		不適合	鱼			
12	緊急時にやむを得ず身体拘束等を行う場合は、記録 を作成することが決められているか。	適合		不適合	鱼			
入居者の財産を保全するための項目								
13	前払金について、規定された保全措置を講じている か。	適合	不 ・ 適 合	〇 非該当	支			
14	【初期償却0の場合のみ「適」とする。)	適合	不 ・ 適 合	非該当	支 交			
15	入居した日から3か月以内の契約解除(死亡退去含む)の場合については、既受領の前払金の全額(実費を除く。)を利用者に返還することが定められているか。	適合	不 ・ 適 合	・ ・ 該 当	校			

- ※ 開設日前にあっては見込みで記入し、実際の状況については備考欄に記入すること。
- ※ 不適合の項目については、その具体的な状況、指針適合に向け検討している内容及び改善の期限を原則として明記し、代替措置がある場合はその内容についても記入すること。